

張り子

ひよつとこやおかめ、干支にまつわる動物など、およそ五〇〇個の木型が受け継がれているという山形張り子。幕末安政の頃、京都の土洩江長四郎が山形下条町に土着し、京都嵯峨人形の手法を伝

えたのが起こりとされる。木型に和紙を水張りし、上質紙をのり張りして天日で乾燥させ、白いハマグリをすりつぶした顔料を塗っていく。描かれる表情にはどこか愛嬌がある。

ぽつてりとした質感と

とぼけた表情に心がなごむ



㊦「張り子」岩城 久太郎

お問い合わせ先

岩城 久太郎 Phone:023(622)6346